

貴争

活汎

業所

展覧



井出会長(左)にマスクを手渡す勝又会長ら

|| 富士市フィランセ

ベトナムから布マスク

富士吉原LC 現地団体が400枚用意 市社協に寄贈

富士市の富士吉原ライオンズクラブ(LC)、市に招待する事業を展開する勝又志延(会長)は、このほど、ベトナムのボランティア団体「FYLV youth(富士吉原ライオンズクラブ・ベトナム・ユース)」から届いた布製マスク4千枚を市社会福祉協議会に寄贈した。

同LCは2000年からベトナム・ハノイの日本語スピーチコンテストで優秀な成績を挙げ、メンバーが経営する縫製工場でマスクを作った。抗原加工を施した生地を

富士市の富士吉原ライオンズクラブ(LC)、市に招待する事業を展開する勝又志延(会長)は、このほど、ベトナムのボランティア団体「FYLV youth(富士吉原ライオンズクラブ・ベトナム・ユース)」から届いた布製マスク4千枚を市社会福祉協議会に寄贈した。

使用した。

市フィランセで開かれた贈呈式で、勝又会長は「ベトナムも大変

な状況の中、自発的な行動に感動した。善意を有効に使ってほしい」と話した。市社協の井出哲夫会長は「市内の障害者施設に配り、感染予防に役立たい」と感謝した。(富士支局・中川琳)

ベトナムからマスク届く

富士吉原LCが社協に4000枚寄贈



マスクが入った箱を手渡す勝又会長

富士吉原ライオンズクラブ(勝又志延会長)は12日、富士市社会福祉協議会にベトナムのボランティア団体から託された布マスク約4000枚を寄贈した。

同クラブは平成12年からベトナムで日本語スピーチコンテストを後援し、昨年までに28人の優秀学生を日本に招待。28年に歴代の被招待メンバーがボランティア団体「FYLV Youth」(富士吉原ライオンズクラブ・ベトナム・ユース)を立ち上げた。

マスクはFYLV Youthが、マスク不足で困っている富士市

の人々に恩返しをしたという募金活動を展開し、メンバーが経営する縫製工場で製造し同クラブに寄託、今回の寄贈につながった。

5枚ずつ封入された包装袋には「ベトナムよりご健康をお祈り申し上げます」とのメッセージを添えている。

同日、勝又会長ら役員5人が本市場の市社協事務局を訪れ、井出哲夫会長にマスクを手渡した。

勝又会長は「FYLV Youthが自発的に取り組み、寄付をしてくれた。奉仕の団体として活動をしてきた私たちの思いが

しっかりとベトナムで受け継がれ、根付いていることにとっても感動している」と思いを語った。

その上で「マスクは30回ほど洗っても効果が続く抗菌UVカット仕様で、肌にも優しくて安全。福祉施設などで役立ててもらえれば」と伝えた。

井出会長は「20年にわたる皆さんの活動が結実したことの証しであるマスクを頂き、大変ありがたい。マスク不足に困っている市内約60カ所の障害者福祉施設に配っていきたい」と謝辞を述べた。



岳南朝日新聞社

富士吉原に

ベトナムからの善意で市 社協にマスク400枚寄贈

富士吉原ライオンズクラブ(勝又泰延会長)は12日、富士市アライオンズを訪れ、同施設内に事務用を置く同市社会福祉協議会に対して抗菌・UVカット仕様の布製マスク約400枚を寄贈した。同クラブと親交のあるベトナムの関係ボランティアグループから「恩返し」として届けられた善意の品で、寄贈品は同市内の障害者施設に配布・提供されるという。

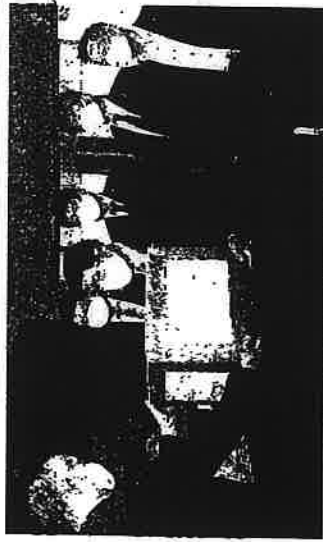
同クラブでは、20

00年からベトナムのハノイで開催されている多言語スピーチコンテストを後援する。同コンテストでも、同コンテストで優秀な成績を収めた日本語専攻のベトナム人学生を富士市に招待する事業を継続。昨年までに計28人の学生が同市を訪れ、体験を通じて日本の文化や生活習慣、経済・産業などについて理解を深めた。招待に際しては、同市内の多くのボランティアがホームステイや研修などで協力してきた。

16年には、招待来日を選んだ5年生で構成するボランティアグループ・F.Y.L.V.Y.O. Club(富士吉原ライオンズクラブ・ベトナム・ユース)がハノイで結成。募金活動などで集めた資金を主として現地の小学校などに

教材や書籍などを寄贈し、選抜にも取り組んでいる。地域のためのボランティア活動を積極的に進めている。

新型コロナウイルス感染症が世界で拡大する中、「日本でマスクが不足している」という情報を得たF.Y.L.V.Y.O. Clubのメンバーたちは、「富士市の皆さまに恩返しをしたい」と自発的に募金活動に



マスクを寄贈する勝又会長とメンバー

取り組み、布製マスク1万枚を同クラブに寄せたという。届けられたマスクの包装や箱には「CARE&SHARE ベトナムより健康をお祈り申し上げます」といったメッセージが記されている。

同日、勝又会長をはじめとする同クラブメンバーがアライオンズを訪れ、「ベトナムの仲間たちの思いが詰まった品を、マスク不足で困っている方にはお届けできたらうれしい」として、同協議会の井出哲夫会長にマスクを贈呈した。

井出会長は「富士吉原ライオンズクラブの

皆さまには、日頃からの障害のある人の施設にさまざまな支援をいただいております。今回の寄贈も大変ありがたい。富士市内には障害者習熟連施設が5カ所あり、

上あるので、各施設に配布・提供し、有効に役立てたいと考えています。勝又会長をはじめとする同クラブメンバーは「クラブでは日頃からの善任の団体として地域社会への貢献に努めてきましたが、私たちが思いをベトナムのメンバーたちが受け止めていただき、自発的な行

動を承知していただくと感じています。ありがとうございます」と喜びを表現し、「感染拡大が続く中でも、国を超えた絆に希望を見いだすことができる。難局を乗り越えられるように、今後とも知恵を出し合い、助け合いながら頑張りたい」と話していた。